

菅政権は何を目指すのか

時事通信社解説委員 山田惠資



- *コロナ感染の現状
- *菅首相のベストシナリオ
- *理念を封印した中曾根
- *五輪中止なら退陣
- *4人のキー・メンバー
- *外交関係は停滞
- *正義に向き合う政治を
- *目線合わせない菅氏
- *二階氏は観光族
- *踏み込んだ予算は無理

柴生田 それでは聞かいたします。（拍手）

本日は、時事通信の山田さんにおいていただきました。改めて紹介の必要もないかもしれません。1958年のお生まれで、上智大学から時事通信へ行かれ、現在解説委員をされておられます。テレビやラジオ等でもご活躍でございます。

菅政権が発足してかれこれ2カ月ちょっとになりますが、今の政権がどうなっているか、われわれ外からは見にくいところがござりますし、来年は選挙とか総裁選とかがございますので、政局が大きく動く可能性もございます。そういうことも含めて、今日は政治のお話をしたいただきたいと思います。

それでは山田さん、よろしくお願ひいたしま

す。（拍手）

コロナ感染の現状

山田 ここにちは、時事通信の山田でござります。早速ですが、コロナの新規感染者の推移を見ると、4月の山の後、二つ目の山が8月にあって、今は11月からの三つ目の山になっています。

4月ごろの山というのは、まだPCR検査があまり普及していないくて、本当に症状が重たい方、37度5分あつても4日間症状が続かなければPCR検査ができない方々に限定されていました。逆に言うと、保健所が検査をする段階のときは、かなり黒に近いという方の数字です。今現在、PCR検査の普及率は高いわけですが、